



Title	センター紹介 大阪大学大型計算機センターニュース No. 2
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1969, 2, p. 2-3
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65111
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

◎ センター紹介

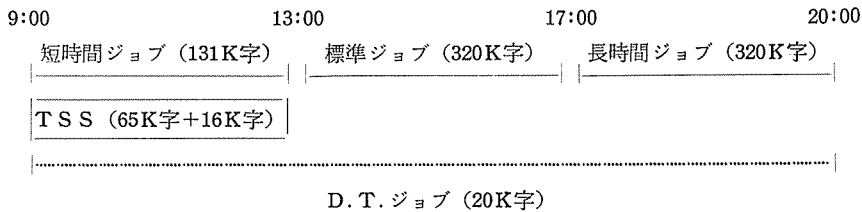
1. モデル 500 コア・メモリの増設および運用スケジュールについて

昭和44年1月6日にモデル500のコア・メモリが131K字増設され、コア容量は524K字になりました。

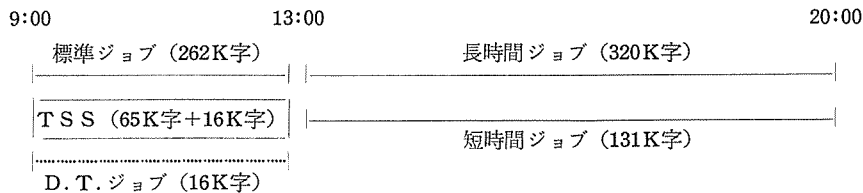
モデル500のコア・メモリ増設と並行して、オペレーティング・システム MOD III の改良が行われ、従来磁気テープを利用していた LIB ファイル（システム・ファイルの一つ）がディスク・パックにおかれることになりました。

これによって、2ジョブ・ストリームのバッチ処理が可能となりましたので、計算機の処理能力を十分に活かすため、1月16日より運用スケジュールを以下のように変更しました。ジョブの並行処理に関して、午前中の時間帯では TSS に、また午後の時間帯では短時間ジョブに処理の優先度が与えられています。（25頁解説参照）

* 従来の運用スケジュール



* 1月16日以降の運用スケジュール



- 注1) 短時間ジョブ CPU time 3分まで
標準ジョブ CPU time 15分まで
長時間ジョブ CPU time 45分まで（上図では45分以上のジョブも含む）

- 注2) D.T.ジョブはカード・デッキの入力、結果の印刷などの仕事であり、ファイル（磁気テープ）および各種入出力機器相互間のデータ処理を行なう。

2. PCS 機器の増設について

このたび当センターに集団複写穿孔機（IBM-519型）等が増設され下記のとおりになりました。
 （利用についての詳細は5頁参照）

1) PCS 機器設置一覧表

44.3.10現在

型名	機器名	センター	データ・ステーション (中之島)	データ・ステーション (吹田)	工学部 (東野田)	理学部	蛋白質 研究所	計
IBM26型-001	印刷穿孔機	—	—	—	—	1	1	2
29型-A22	印刷穿孔機	8*	2	2	1	—	—	13
29型-C22	印刷翻訳穿孔機	1	—	—	—	—	—	1
59型-002	印刷穿孔検査機	1	—	—	—	—	—	1
519型-001	集団複写穿孔機	1	—	—	—	—	—	1
計		11	2	2	1	1	1	18

注 パンチコードは“H”型である。（*ただし8台中1台のみ“A”型）

2) IBM特殊文字コード比較表（A型，H型，EL型）

コード	A 型	H 型	EL 型
12	&	+	&
12-3-8	・	・	・ (Period)
12-4-8	□)	<
11	—	—	— (Minus)
11-3-8	\$	\$	\$
11-4-8	*	*	*
0-3-8	,	,	, (Comma)
0-4-8	%	(%
0-1	/	/	/
3-8	#	=	#
4-8	@	' (Apostrophe)	@
12-8-2			C
12-8-5			(
12-8-6			+
12-8-7			(Stroke)
11-8-2			!
11-8-5)
11-8-6			;
11-8-7			┘
0-8-2			Blank
0-8-5			— (Underline)
0-8-6			>
0-8-7			?
8-2			:
8-5			' (Apostrophe)
8-6			=
8-7			”